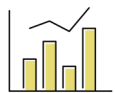




4月7日、令和4年度の相川小学校がスタートしました。前日に入学式を終えた1年生を全校でお迎えし、校庭で始業式を行いました。新任式、対面式、始業式の3つの式を行いました。全校児童が行儀良く集中して式に参加することができていました。特に6年生の態度が素晴らしかったと感じています。6年生が自らの態度で全校を引っ張っていくことが期待できる姿でした。地域の皆様や保護者の皆様方にも見守っていただき、有意義な1年間が過ごせることをお願いいたします。

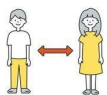
授業参観・学級懇談会を変更しました

昨日の通知でお知らせしたとおり、4月に行われる予定だった授業参観を中止させていただきました。また、学級懇談会を学年総会に変更しオンラインで実施することを決定しました。保護者の皆様方には多大なるご迷惑をおかけし、誠に申し訳ございません。学年が一つ上がり、新しい担任になった学級があります。新しくクラス編成をした学級もあります。学年のはじめに、各学級の様子を是非とも保護者の皆様にご覧いただきたく、対策を検討してきましたが、保護者の皆様や児童の安心・安全を確保する見通しが持てず、授業参観中止の決定をさせていただきました。



改善されない感染状況

山梨県の状況を見ても、感染者数の減少が滞っています。昨年度3月の感染者数は月合計で30人でした。本年度は6,544人です。感染者数だけで感染の深刻性を判断するのは不適切かもしれません。そこで実効再生産数（1人が何人に感染させるかを表す数）に目を向けると、山梨県では収束の境とされる1を上回ったり下回ったりを繰り返している状況です。



難しい感染症対策

年度初めの児童と職員の様子を保護者の皆様には是非ご覧いただきたく、授業参観の計画を進めてきました。しかし、本校の施設では、十分な感染症対策を施すことが困難であることがわかりました。

本校の教室は1辺が約7.5mの正方形です。現在、児童は安全な距離を保つため、左右の

壁一杯にまで広がって机を配置しています。そのため、保護者の皆様に入っただけのスペースは教室の後方にしかありません。安全な距離を保って保護者の皆様にご参観いただくとなると、一度に教室に入れる人数は最大で6名です。6名の定員で授業参観を行うとなると児童数の多い学級では、授業参観を5回以上に分けなければなりません。そうすると1回あたりの参観が9分以下になってしまいます。授業参観を安全に開催するのはとても厳しい状況であると判断しました。

本年度もウイズコロナの生活が強いられることでしょう。全ての行事を実施することは難しい1年間になるでしょう。大切な行事を見極め、大切な行事の実施に万全を尽くしていきます。今は、5月に行われる6年生修学旅行を最も大切な行事として万全の対策をとっていきたいと考えています。

今後、感染症の推移を見極め、予定されている行事を調整する中で、保護者の皆様にご覧いただく機会を持てるよう努力して参ります。